3　説明書の交付　本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。
⑴　交付期間　平成22年８月16日から平成22年９月16日まで。
⑵　交付場所　上記２⑵に同じ。
4　説明会の開催　本公表に基づく導入説明会を開催する。
⑴　開催日時　平成22年８月30日14時00分
⑵　開催場所　千葉大学環境健康フィールド科学センター会議室
5　その他　この導入計画の詳細は導入説明書による。なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。
6　Summary
⑴　Classification of the products to be procured : 24
⑵　Nature and quantity of the products to be purchased : Efficient analyzing and managing systems for plant factories 1 Set
⑶　Type of the procurement : Purchase
⑷　Basic requirements of the procurement : introduction manual
⑸　Time limit for the submission of the requested material : 5 : 00 PM 16, September, 2010
⑹　Contact point for the notice : Nomoto Makoto, Center for Environment, Health and Field Sciences, Chiba University, 6―2―1 Kashiwanoha Kashiwa-shi 277―0882 Japan, TEL 04―7137―8007

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。
平成 22 年８月 16 日
国立大学法人名古屋大学
財務担当理事　高橋　　誠
◎調達機関番号　415　◎所在地番号　23

○第２号

1　調達内容
⑴　品目分類番号　14
⑵　導入計画物品及び数量　病院総合情報システム　一式
⑶　調達方法　借入
⑷　導入予定時期　平成23年度１月以降
⑸　調達に必要とされる基本的な要求要件
A　基本構成
診療系・看護系・医事系の３要素を統合し、本学附属病院の診療業務を総合的に支援しつつ、病院業務を円滑に運営・管理できる機能を有すること。
B　ガイドラインの準拠
厚生労働省の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」の要件を踏まえ、包括的なセキュリティ管理機能を備えること。
C　診療及び看護に関わる機能の対象
診療に関わる機能の対象として、患者基本情報、予約（外来、入院、他科・他部署受診等）、指示（各種オーダー、入院中指示等）、検査(検体・生理・放射線・輸血・病理等)、処方（院内・院外等）、注射（外来・入院等、院内調剤、製剤等）、処置(外来、病棟処置、放射線治療、内視鏡・透析・リハビリテーション等)、輸血、手術、麻酔、ＩＣＵ、ＮＩＣＵ、化学療法、歯科、看護ケア、患者移動（入退院を含む転棟・転科・主治医の変更・転室転床・外泊等)、食事、ＩＣＤコードに基づく病名、厚生労働省診断群分類（ＤＰＣ)、治験等を含むこと。また、患者の状態に関連する、褥瘡、栄養サポート、感染対策、医療機器管理、医療安全管理等のデータ、各種証明書等について院内横断的な管理、記録をサポートできる機能を有すること。
D　医療安全／クリニカルインディケーター
医療安全を支援するインシデント記録・解析機能を備えること。患者の個人識別、輸血、薬剤や材料の誤認チェック等を含む診療上のリスク回避にかかわる機能等を有すること。またクリニカルインディケーターを集計する機能を有すること。
E　情報開示及び外部評価への対応
診療情報の開示やリスク要因の解析、外部評価などに耐えられる粒度及び可用性を備えたデータの蓄積・抽出・再利用を前提とした構成をとり、本学の指定するフォーマットによる患者プロファイルを生成・出力（表示、印刷、ＰＤＦやＣＳＶ等のファイル出力）する機能を有すること。
F　オーダリング、権限の委譲及び管理
オーダーは安全・精度管理に必要となるタイムスタンプ・実施者・実施場所等の属性を保持した実施入力に基づく運用を前提とし、時系列に沿った一覧機能を有するとともに、オーダー内容の変更履歴・閲覧履歴参照機能を備えていること。またオーダー及び記録に関しては適切な代行入力が可能となるよう、ユーザ権限の設定、項目ごとの権限委譲、委譲された権限の承認、実行、確認等管理する機能を有すること。
G　医事会計／診療報酬改定・特定共同指導等への対応
出来高および包括評価制度に対応した電子レセプト生成および病院管理会計に必要となるオーダー情報の全ての項目を取り込んで蓄積し、入力の自動化に対応すること。また、診療報酬改定に常に対応したシステムとし、特定共同指導等にて機能不十分として指摘されないようにすること。
H　クリニカルパス　ＰＣＡＰＳ
電子カルテ機能及び診療にかかわるオーダリング機能を用いた、クリニカルパスとしての運用が可能であること。その際に、患者状態の変化に対応し、予め規定したロジックに基づき、いくつかのユニットに分かれたパスを選択して繋いで行くことにより、大部分の患者において退院およびクリニカルパスの設定する最終ゴールまで適用可能であること。
I　インテリジェントリンク
電子カルテの記録と各種オーダーとを連結させるため、電子カルテ記載中に、記載内容に対応したオーダーが半自動的に起動されるようにし、実行された場合には、記録とオーダーが紐付けされていることが分かるよう表示及びリンクする機能を有すること。
J　タイムライン
診療経過および計画を俯瞰的に参照するため、診療情報を時系列にて表示するとともに、時系列の尺度（スパン）にあわせた診療情報を適切に表示し、視覚的に診療経過を見ることができるようにすること。また、表示する項目種類を選択できる機能を有すること。
K　患者とのコミュニケーション及び教育情報提供機能
患者の診療予約、待ち時間、場所ナビゲーション等のコミュニケーション機能を備えること。また、患者への教育情報提供機能を備えること。いわゆる患者様用クリニカルパスの形態を取り、かつ入院診療計画書としての要件も備えていること。
L　地域連携
充分なセキュリティを確保した上で外部ネットワークへの接続を行い、ＶＰＮ（仮想プライベートネットワーク）等の技術を用いて情報の漏洩を防いだ上で、特定の関連施設から本院電子カルテのｗｅｂでの参照を可能とすること。また、相互の情報連携及び、紹介状システム、予約システムの利用が可能であること。
M　病院運営管理機能・情報共有機能（病床管理、物流管理、人事管理、院内広報、グループウェア、ユニファイドコミュニケーション）
病床管理・物流管理・人事管理などの病院運営管理機能、院内広報などのメッセージング機能を有すること。また、グループウェア機能を有し、個人のスケジュール管理と予約システム等の業務システムとの連動を可能とすること。また、院内広報はセキュリティを確保した状態でインターネットと接続できるようにし、院内での連絡及び情報伝達はユニファイドコミュニケーションを実現させること。
N　ＵＩ（ユーザインタフェース）
本システムの各端末は、マルチウィンドウやＧＵＩを採用し、操作性の統一を図り、快適な作業環境を提供すること。また、各端末の一元管理を実現するために統合的な機能を提供すること。また、市販データベースソフトである(ファイルメーカーＰｒｏ）を用いてユーザ自らが作成したデータベースおよび入力テンプレートを本システムにデータベースレベルで適宜連携させ、入力インタフェースとして利用可能とすること。
また、入力インタフェースには、ＰＣ端末だけでなく、ＰＤＡ、電子ペーパー及びタッチスクリーンタブレット等に対応すること。